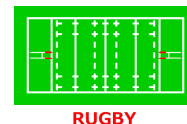


## ラグビーワールドカップ2019 観客救護室看護師ボランティア報告



東京スタジアムで開催された、オーストラリア vs ウェールズ、フランス vs アルゼンチン、イングランド vs アルゼンチン、ニュージーランド vs ナミビア、ニュージーランド vs アイルランド（準決勝）、ニュージーランド vs ウェールズ(3位決定戦)に観客救護室看護師ボランティアとして看護学科教員3名が参加しました。(老年看護学・梶井文子、小児看護学・永吉美智枝、在宅看護学・遠山寛子)



ADP

「日本が開催国とは思えないほど多国籍の観客に驚きました。また、救護室に来られる方の病態は転倒・転落等による外傷、整形外科、酩酊等の内科、持病の循環器・呼吸器内科疾患等、想像以上に多彩でした。」

ADP

「救急車要請の案件もありましたが、医師及び大会スタッフとの連携がうまくいっていたため問題なく搬送できました。日本人以外の訪室者が多かったのですが、概ね英語で対応が可能であり、用意されていた同時通訳機を使用することはありませんでした。」

ADP

「事前のスタッフミーティング - 国際交流センター芦田教授による英会話研修 - 第三病院でのBLS研修 - を経たことで実際の場面に活かすことができました。初対面から始まった医療チームも終了後には One team となっていたことに、メンバーとして嬉しく思いました。」

